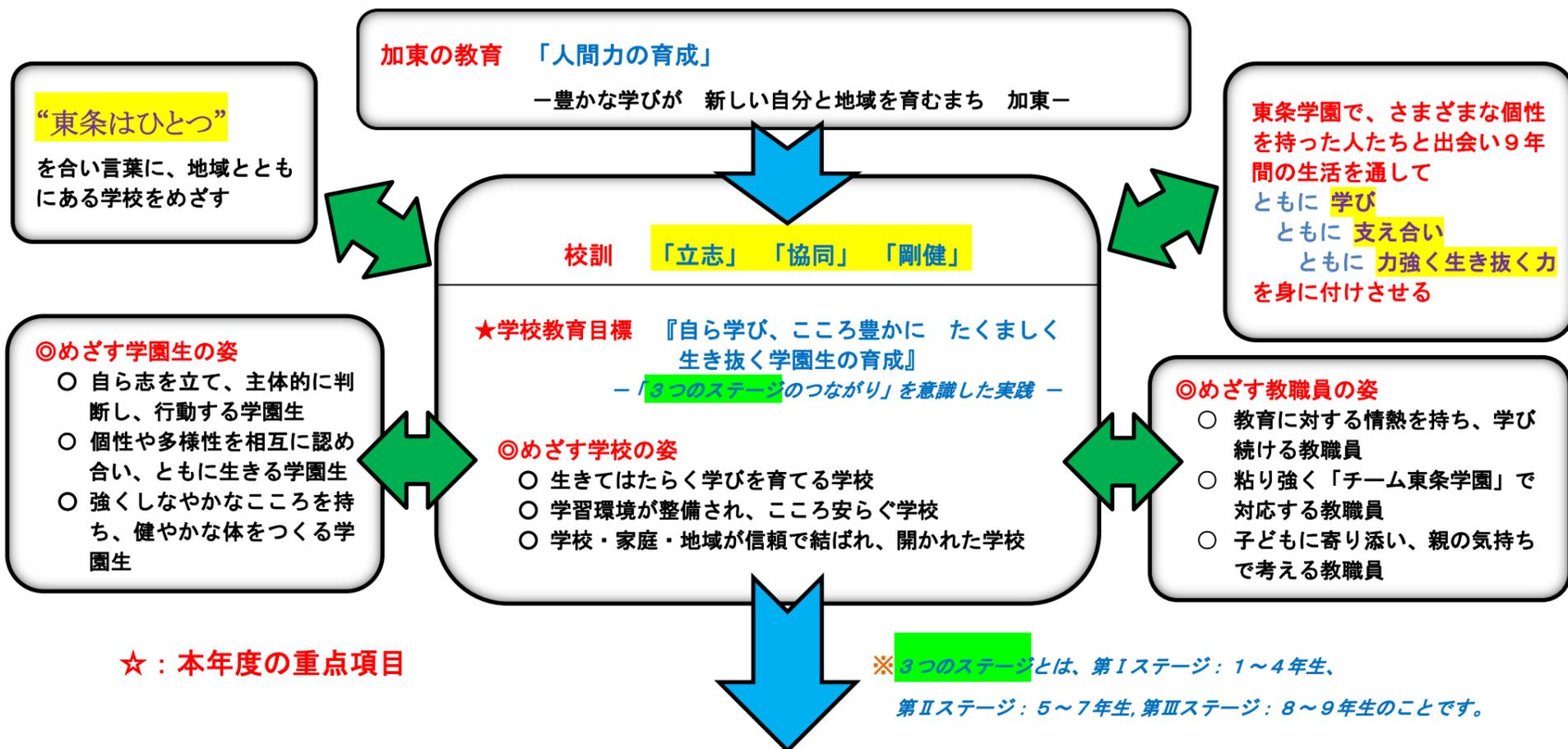
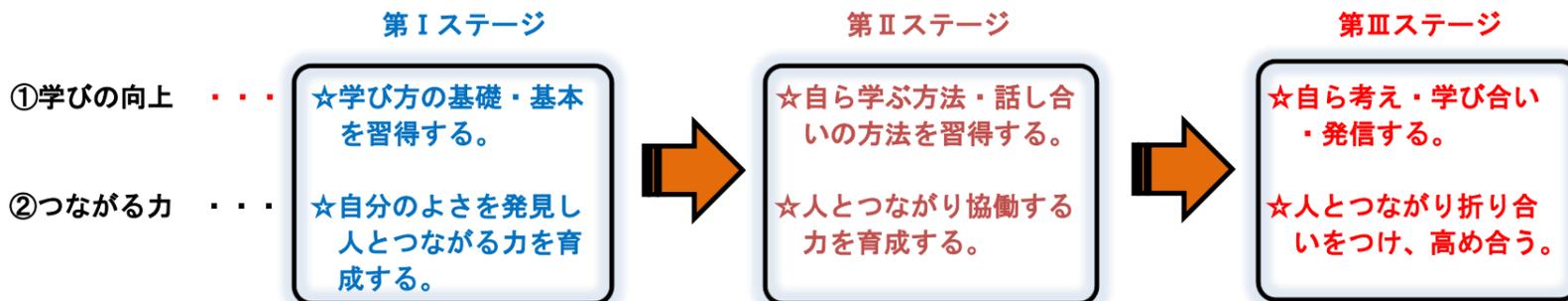


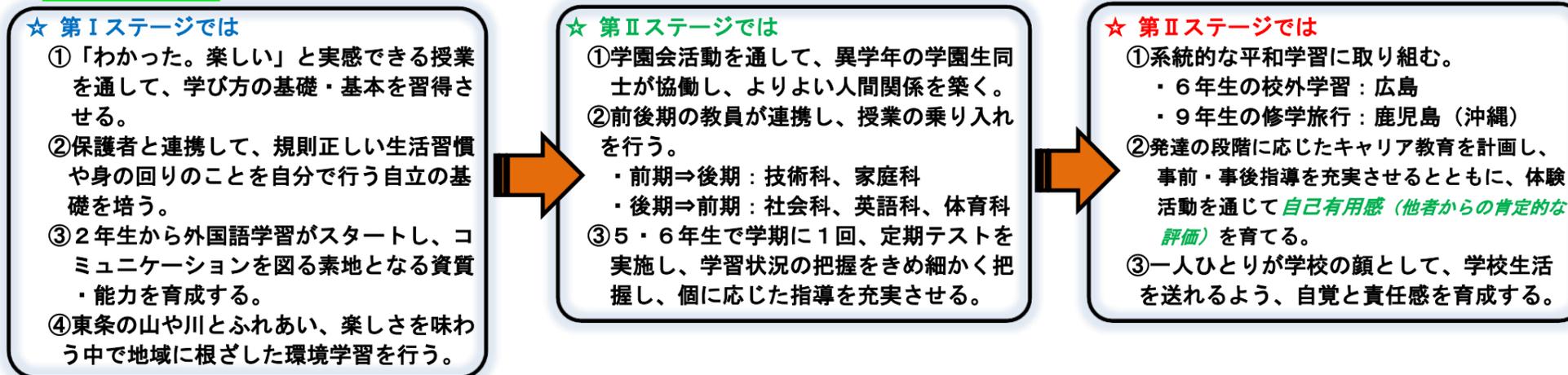
令和3年度 東条学園小中学校 経営方針



☆ 9年間を見通した系統性のある学び(縦につながる4-3-2の3つのステージ)



☆ 3つのステージの特徴的な学び



☆ 具体的な取組

- 生きてはたらく学びの向上を図る。**
 - ☆生徒が「学習の見直し」を持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を「振り返り(チェックすること)」、次につなげる見直しをもった授業を実施する。
 - 「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の視点に立った授業改善を図る。
 - ICT機器を活用して、より楽しく、わかりやすい授業づくりに努める。
- 他者につながる力を育成する。**
 - エンカウンターを活用した人間関係づくりを推進する。
 - ☆学園会の中央委員が中心となって、体育大会、学園祭等の学校行事を企画・運営することで、学園生の自治能力を育成する。
- 他を思いやり、互いに高め合うこころを育てる。**
 - ☆自分の問題として「よく考え」、その考えをより深めていくために級友と「議論する道徳」をめざした授業づくりを推進する。
 - つなぐ学校行事を通して、平和な状態を維持するためにどうすれば良いかを学ぶ。
- 健康な心身を育て、安全に対する意識を高める。**
 - 定期的な困ったことカードや教育相談の実施により心のケアの充実に努める。
 - ☆系統的な体幹トレーニングを実施し、体力・運動能力の向上や正しい姿勢を身に付けさせ、けがの予防に努める。
 - 保護者や関係機関と連携した交通立ち番指導や交通安全教室等を実施する。
- 心通う集団づくりをめざして、積極的な生徒指導を推進する。**
 - 完全ノーチャイムを実施し、時間を常に意識させ、自己管理能力の向上を図る。
- S CやS S Wを含めた校内学園生の支援体制(ケース会議や学年会議)を充実させ、福祉・医療機関等と積極的な行動連携を図る。**
- 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な特別支援教育を推進する。**
 - 個別の教育支援計画等の見直しを実施し、本人・保護者の願いを中心に据えてライフステージに応じたきめ細かく適切な支援を行う。
 - ☆加東市発達サポートセンター「はぴあ」と連携した切れ目のない学園生支援・家庭支援を行う。また、デリコラ(巡回相談)等を積極的に活用する。
- 保護者・地域とのかかわりを強化する。**
 - 機動的なPTA活動を通して、学園生の健全な成長を見守り支える体制づくりを整える。
 - ☆地域住民等の委員が学校運営に参画する学校運営協議会を設置する。
 - ふるさと学習「かとう学」やゲストティーチャーの積極的な活用などを推進する。
- 教職員が心身ともに健康で、働きやすい職場環境づくりを進める。**
 - 学校の業務内容を見直し、効率化を図ることで、学園生と関わる時間を確保する。
 - ☆留守番電話の設置や毎週1回の「定時退勤日」を保護者等へ周知することにより、教職員の共通理解のもと働き方改革の確実な実施を図る。
 - 部活動の練習計画表を校内に掲示することで、学園生や教職員に周知を図り、「ノー部活デー」を確実に実施する。